

一般質問



北東北の交流拠点都市の実現に向けた定住人口3万人交流人口14万人のまちづくりを強力進めるために

田口喜義

観光産業を活かした北東北の拠点都市の実現に向けて「定住人口三万人、交流人口一千万人」のまちづくり推進のため重点プロジェクトを設定しているが、全体の進捗状況を見る観点から伺いたい。

誘致企業について

質問 企業の海外シフト傾向から、人件費の高騰、品質管理、技術力等において国内にシフトする現象が現在、起き始めている。山形県や岩手県では企業誘致に成果を上げている地域もある。仙北市ではどのようにとらえて誘致を進めているのか。

市長 企業誘致については、あらゆる可能性を求めて中央へも行き、また、既存の企業の方とも話をしながら努力している所だが、結果としては残念ながら実現に至っていない。県とも常に連携を取りながら今後も誘致に努力していきたい。

雇用の場確保について

質問 雇用の場確保では企業誘致に力を注ぐことはもちろんであるが、地元の起業家を育成することも大切と考える。起業しやすい環境をどう作るのか、やる気のある

方々へのサポートを市はどのように考えているのか。起業と云うことでは、現時点では農業法人の取り組みを行っている所である。夢プラン関係支援、規模に応じて各種支援制度を有効に活かすため、計画段階から相談に乗り、その促進に努めていきたい。

市長

観光誘客体制の整備は観光客の入れ込み数が角館のさくら、刺巻の水芭蕉、西木のかたくり、合わせて昨年比で十八万二千三百人も減少している。テンミリ

観光誘客体制の整備は

質問 観光客の減少理由

オン計画二年目にしてこうした現象結果を見るに、安閑としていられない状況で、新しい誘客体制の整備が早急に必要と思われるが。

市長

客数減少の歯止めの方法について、地域的なもの、また、年度の様々な条件に左右されることからひと口には申し上げがたい。テンミリオン計画に向けて多方向の努力をするということは今、申し上げるしかない。

観光資源の掘り起こし

質問 観光客の減少理由にガンリン高騰、都市

スーパー温泉の出現、新幹線の延長等々挙げられるが、そんな中で観光客減少を食い止めるには観光資源の掘り起こし、マンネリ化した資源をどうリニューアルするかであると思うが。

市長

現在、観光振興計画作成中で、その中で委員会の方から意見を頂いている所だ。提案を盛り込んで、実施については直接関係の深いところを中心として行動することになると思う。

観光産業と他産業との連携は

質問

観光と農業との連携ではグリーンツーリズムやエコツーリズムが挙げられる今や農業体験だけでなく樺細工、板金細工、風の絵付け、又、秋田弁、語りっこ、囃子や踊りなど多種多様な体験型観光メニューも豊富である。

どのように取り組んで行く考えなのか。

市長

現在も農業体験だけでなく森林体験とか商家体験など行っており、さらに広い範囲での取り組み、多方面の要望に応えられる体制作りに努力していきたい。



角館バイパスの延伸はいつ!?